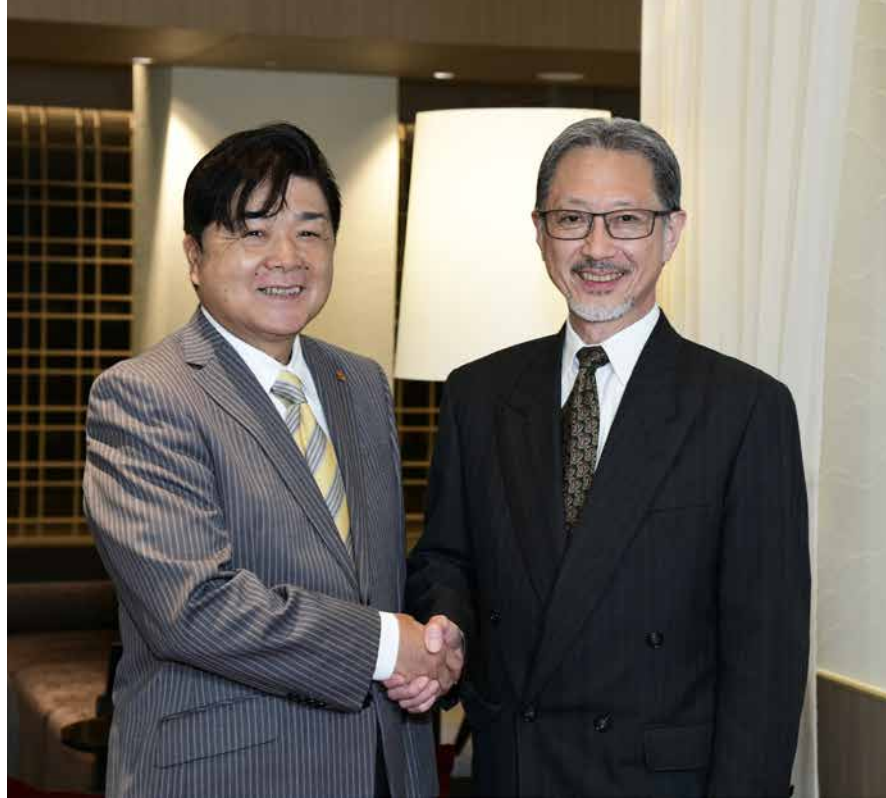


ホテルと飲食業で国際通りを盛り上げ、多くの県民が足を運んでくれるようにしたい。



鈴木 洋一 × 松本 龍之

すずき よういち

まつもと たつゆき

沖縄県飲食業生活衛生同業組合の鈴木理事長と、今年1月にオープンした「ホテルコレクティブ」の松本代表によるセッションです。旧知の仲のお二人が、それぞれの立場から地域の発展を語ります。

嘉新琉球COLLECTIVE株式会社代表取締役
1954年、広島県生まれ。東洋大学短期大学ホテル観光学科を卒業後、東京ヒルトンホテル(現キャピタル東急ホテル)を経て、85年に沖縄リージェントホテル沖縄料飲部統括支配人として沖縄に着任。2015年より現職。

外資系ホテルの進出で地元がレベルアップ

鈴木 松本社長との出会いは1987年、私が那覇青年会議所(JC)の国際交流委員長を務めていた頃になります。当時、沖縄リージェン

わっていました。今年1月にオープンしたホテルコレクティブにはその経験がどのように活かされていますか。

松本 国映館の跡地にホテルを建てるということで、プランニングを兼ねて久しぶりに国際通りを歩いてみたのですが、目に付くのはほとんどがインバウンドを含めた観光客の姿ばかり。私がかつて通っていたジーンズ屋さんなどのショップもほぼ土産店になっていました。観光収入も当時とは比較できないほど伸びているでしょうし、観光立県としてはいいことだと思います。ただ、私がいた頃はハワイのワイキキのように地元の方と観光客が混じっている感じがした。観光客が歩いていないのは寂しいな。かつて県民の憩いの場であった国映館には多くの人がいろんな思い出を持っていると思います。せっかくそういうロケーションにホテルを建てさせていただけなのだから、ここを発信地として地元の人たちに再び国際通りを訪れるきっかけを作りたいと考え、いろいろ工夫を凝らしました。

鈴木 それで宴会場も作ったわけですね。松本 宿泊特化型ではなく、大小の宴会場やチャペル、地元の方にも利用しやすいようなレストランを設置しています。特に中華料理には力を入れていますよ。

飲食を通して地域を活性化

鈴木 松本社長が久しぶりに沖縄を訪れてみて、飲食業界の変化を感じますか。

松本 地元食材が圧倒的に増えましたね。私が勤めていた頃はゴーヤーくらいしかなくて、あとはほとんどが本土からの仕入れでし

ントホテル(現ナテラス)に勤めていた松本社長が那覇JCに入会してきたんですよ。松本 入会した時の例会で、なぜか私だけが所属委員会が決まったんです。

鈴木 松本社長が英語を話せるということでしたので、それだけの理由で国際交流委員会に所属してもらったことにしました(笑)。当時、沖縄を訪れる観光客数はせいぜい200万人程度でしたが、松本社長が料飲部門の責任者として勤めていたホテルは沖縄初の富裕層向けのホテルでした。私たちがらするとけっこう画期的な出来事で、周りのホテルや飲食店はいろんな刺激を受けてさまざまな面でレベルアップをしたと私は思っています。一流ホテルで培った知識を持っていた松本社長のような人材が会員になってくれたのはうれしかったですね。

松本 鈴木理事長は現在、沖縄県飲食業生活衛生同業組合の理事長を務めていらつしやいますが、当時は国際通り沿いでも飲食店を展開していました。そのあたりでも話が合いましたね。私はこれまでリージェントホテルの新規立ち上げでニューヨークやワシントンDC、ハワイなど世界各地にほぼ1年単位で赴任していました。沖縄には3年半勤務していましたので、那覇JCに入らせていただいて、同年代の仲間たちと楽

言葉进行を交わさない情報交換のようなものもありますしね。そもそもホテルも地域に根づいてビジネスをさせていたにいてるわけですね。従って周りの既存店と競争するのではなくて共存共栄を図りながら地域の食のレベルを上げていければ、その地域を訪れる人が結果的に増えていきます。私が以前勤めていた会社の社長が「なぜコンシェルジュを置くのか」ということを話していました。ホテルのレストランには限りがあるし、その食事が合わなかったらもう二度とそのホテルを選ぶことはない。リピーターになってもらうためには、ホテルのみならずその地域自体の良さを知ってもらわなければいけません。実際に多くの宿泊客がホテルの外で食事をしますし、私も実際に周辺の飲食店を回りながら、宿泊客の要望に応えられそうなお店をチェックし、コンシェルジュを通して紹介できる態勢を整えています。私たちのコンシェルジュも熱心に周辺の飲食店や観光地を調べています。それでお客様に喜んでいただけたら、またやって来てくれる。その姿勢が大切だと思っています。

鈴木 先ほどの話にもありましたが、県民の足は国際通りから遠のいています。ホテルと飲食業で国際通りを盛り上げ、周辺のお店も含めて多くの県民が足を運んでくれるようになると思います。

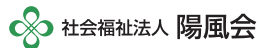
松本 地域全体が潤うというのが一番いい関係だと思っています。

鈴木 本日はお忙しい中ありがとうございます。松本 こちらの活躍を期待しています。互いの力を発揮して地域を盛り上げていきましょう。

医療法人陽心会グループ



医療法人陽心会



社会福祉法人 陽風会

理事長 高良 健

有限会社ヘルスサポート

取締役 高良 まき子



大道中央病院
那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代)
リハビリテーション部門 TEL.098-869-0090

メディカルプラザ大道中央
那覇市字大道123 TEL.098-866-0007(代)
一般内科部門 TEL.098-886-0115
循環器部門 TEL.098-886-5141
糖尿病部門 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検診部門 TEL.098-886-5678

介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030

グループホーム たかまーの家
那覇市字大道94-3 TEL.098-887-0081

小規模多機能型ホーム 大道
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018

グループホーム 大道が丘
那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036

小規模多機能型ホーム 三原
那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027

訪問看護ステーション 陽心会
那覇市安里64-9-17 TEL.098-860-1270

那覇市地域包括支援センター 若狭
那覇市若狭2-1-10 TEL.098-865-1165

那覇市地域包括支援センター 新都心
那覇市銘苅1-6-15 TEL.098-941-2252

(訪問介護事業所)
那覇市字大道128 TEL.098-885-0033

ケアハウス 常夏の家
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036

小規模多機能型ホーム 牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

有料老人ホーム 星の原
那覇市安里1-1-17 TEL.098-917-1262

特別養護老人ホーム 前島
那覇市前島3-18-17 TEL.098-894-8039

那覇市末吉老人福祉センター
那覇市末吉末吉2-14 TEL.098-886-3510

那覇市豊川老人福祉センター
那覇市豊川2-3-11 TEL.098-853-1139

那覇市社老人憩の家
那覇市辻2-14-1 TEL.098-864-0580

有料老人ホーム 三原の家
那覇市三原1-26-40 TEL.098-832-5981

有料老人ホーム 牧志
那覇市牧志2-9-43 TEL.098-862-1331

有料老人ホーム 西町
那覇市西1-20-19 TEL.098-863-7884

デイサービスセンター リバーサイド
那覇市安里1-18-3F TEL.098-862-1501

有料老人ホーム 健寿の社
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070

有料老人ホーム 松風邸
那覇市辻2-10-14 TEL.098-869-8557

ヘルズガーデン那覇
那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300

デイサービスセンター 松川
那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300

デイサービスセンター 若狭海岸
那覇市若狭1-21-1 TEL.098-941-0110

デイサービスセンター 大道
那覇市字大道127 TEL.098-886-0066

有料老人ホーム 大道中央
那覇市字大道127 TEL.098-886-0061

デイサービスセンター 若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-6122

有料老人ホーム 若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

有料老人ホーム 若狭別館
那覇市若狭2-5-12 TEL.098-863-3320

小規模多機能型ホーム 若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

グループホーム 若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551

在宅総合ケアセンター 大道
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030

那覇市地域包括支援センター かなぐすく
那覇市後原町1-68 TEL.098-852-0777

福祉用具貸与・販売事業所
那覇市字大道128 TEL.098-885-0100



鈴木 松本社長は沖縄でもホテル運営に携

地元の人を呼び戻すきっかけに

鈴木 台湾は歴史的に見ても沖縄と仲がいいですよ。オリオンビールさんも年に1度、台北でビアフェストを開催しています。台湾には日本風の居酒屋が約500店舗あるようで、ほとんどの店にオリオンビールが入っているそうですね。

松本 台北で一番最初に生ビールを発売したのはオリオンさんなんです。その後には本土の大手が次々とやって来しました。鈴木理事長のおっしゃる通り、台湾と沖縄は歴史的・地理的にはもちろん、食を含めた文化にも近いものがあります。弊社の母体企業は台湾にありますので、今回の新規開業にあたってはそのあたりの考えもあったと思います。